



の がき
野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2023年10月号 連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

給食費無償化、自転車ヘルメット助成など計上



9月11日から第3回定例会が始まっています。岸本区長は今定例会に補正予算（4号）を提案しました。

くらし・福祉守ろう！

今年6月から始まった高齢者の補聴器購入費助成は、多くの申し込みがあったため、当初予算と同額の費用を計上しています。また、長期化する物価高騰の影響を踏まえ、事業者に対する光熱費等の追加経費も盛り込みました。（※10月から申請が始まる中小企業光熱費高騰緊急対策助成金とは別のものです。）

この他にも、補正予算には党区議団が求めてきたことが多数反映されました。

補正予算(第4号)の概要

- 学校給食費の無償化 9億4,449万円
・区立小・中・特別支援学校64校が対象
29,500人
- 保育施設に通う第二子保育料 3,200万7千円
・これまで2分の1を軽減。さらなる負担軽減のために令和5年10月から無償化。2,253人対象。
- 自転車ヘルメット助成 2,192万6千円
・ヘルメット着用促進講習会受講者
最大5千円 250名
・上記以外 最大3千円 6,750名
- 高齢者補聴器購入費助成 462万9千円
・実績を踏まえ、120人分を追加
- 光熱費等の支援 2億3,012万円
・公衆浴場、介護事業者、保育所等に対する光熱費等の支援。下半期分の追加経費。
- 気候変動対策の推進 4,726万8千円
・再生可能エネルギー等の導入助成、断熱改修等エネルギー対策助成などの追加経費
・(仮称)気候区民会議の開催
- 対話によるまちづくりの推進 342万円
・(仮称)阿佐谷まちづくりセッション」の開催
・都市計画道路133号線に係る対話集会の開催

10月から区立小中学校の給食費無償化が実現

9月26日の第3回定例会本会議で、学校給食費の無償化の費用を含む補正予算（4号）が賛成多数で可決しました。

党区議団の提案が実現へ

学校給食は、国の「食育基本法」や「第4次食育推進基本計画」でも、重要な位置付けとなっており、義務教育課程での学校給食費は憲法26条に基づき無償とすべきです。

党区議団は再三にわたり、給食費無償化を求めてきました。本来、国が進めるべきことではありますが、岸田政権が未だ踏み出さないなか、東京23区では、多くの区が独自に無償化方針を決定し、国策として実施するよう迫っています。

自民、都ファなどが反対

採決の結果は、賛成28、反対17でした。※議員定数48名のうち欠席2名、議

長1名を除く45名が採決に参加。

党区議団の他、立憲、公明、生活者ネット、維新の会などが賛成。自民党・無所属や前区長派の無所属・都民ファーストの会などが反対しました。

早期に課題解消を

今回の無償化の対象には、私立や都立の児童生徒は含まれていません。早急に区内すべての児童生徒を対象とするよう制度改正を行う必要があります。

また、区立小学校の給食費は学校ごとの「私費会計」であり、区の会計「公会計」とは別の取り扱いです。透明性や公平性の向上のため、公会計化を進める必要がありますが、杉並区では前区政時代から進んでいません。党区議団は、補正予算の審議の中で、これらの課題についても早急に改善するよう求めて賛成しました。

補正予算に対する各会派の賛否

会派	自無	共産	立憲	公明	無都	生ネ	維新	れ耕	安心	参政	革新	杉み	セン	緑グ	杉わ	共生	無	無杉
人数	10	6	6	6	4	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
賛否	×	○	○※	○	×	○	○	○×	○	○	欠	○	×	○	○	○	×	議長

賛否 ○・賛成 ×・反対 欠・欠席

※立憲は6名会派だが1名欠席で5名出席 ※れ耕は2名で賛否が分かれた

【会派名】自無/自民党・無所属杉並区議団、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、無都/無所属・都民ファーストの会、生ネ/区議会生活者ネットワーク、維新/杉並維新の会、れ耕/れいわを耕す、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、杉み/杉並みらいの会、セン/杉並をセンタク致し候、緑グ/緑の党グリーンズジャパン、杉わ/杉並わくわく会議、共生/共に生きる杉並、無/無所属、無杉/無所属杉並

生活保護の無理な「扶養照会」はやめさせよう！

照会率80%から27%と大幅に引き下がったことが明らかに！

生活保護の申請の際に行われる「扶養照会」。杉並区では前区政時代に申請者が拒否しても扶養照会を強行していたことが問題になっていました。

扶養照会は、福祉事務所が申請者の親族に連絡をして支援を依頼するもので、当事者の多くが「親族に知られたくない」など照会を拒み、生活保護の申請をためらう理由になっていました。党区議団は無理な扶養照会を止めるよう、これまでも議会で質してきました。

国は「義務ではない」と答弁

厚労相は2021年の小池晃参議院議員の国会質問に対し、生活保護申請をためらわせる扶養照会は「義務ではない」と明言しています。従って、国や都では本人の同意が得られない場合は、無理な照会を行わないとしています。

しかし、杉並区は他区と比べ2021年の照会率が異常に高いことが今年の東京新聞で報道されており（右表参照）、引き続き今定例会で党区議団が追及したものです。

杉並区の3福祉事務所扶養照会件数

年度	新規保護開始世帯	扶養照会件数	実施率
2020	659	624	94.7%
2021	679	545	80.3%
2023	296	82	27.7%

※福祉事務所資料に基づき作成
2022年度は統計なし
2023年度の統計は4月～8月末現在

扶養照会実施率(2021年度)
東京新聞の調査報道より

杉並区	80.3%
渋谷区	60.2%
港区	60.0%
墨田区	55.2%
府中市	51.4%
北区	43.7%
江戸川区	43.0%
豊島区	42.3%
文京区	42.1%
練馬区	41.8%
葛飾区	40.1%
品川区	39.8%
八王子市	34.3%
目黒区	33.2%
江東区	29.8%
千代田区	22.1%
足立区	10.0%
中野区	9.6%
新宿区	7.1%

未集計と回答

台東区
町田市
西東京市

人数のみ回答

中央区
大田区
世田谷区
荒川区
板橋区
調布市

◀23区でも扶養照会率が杉並区の10分の1以下という自治体も！

今回の党区議団の質問で、2023年度の照会率は2020年度の三分の一まで引き下がったことが明らかになりました。（左表参照）

また、区は答弁で、無理な扶養照会はおこなわないことを表明しました。

生活保護は憲法25条で保障された生存権に基づく国民の権利であり、最後のセーフティネットです。岸本区政になり、生活保護への対応が改善されたことは重要です。

コミュニティふらっと本天沼の業務委託先が決定

9月19日の区民生活委員会で、コミュニティふらっと本天沼の業務委託先が公募型プロポーザル方式で決定したとの報告がありました。

受託事業者はH21年からゆうゆう天沼館を運営してきたNPO団体です。コミュニティふらっと本天沼は令和6年10月から業務開始の予定です。

区は今後も事業者の選定にあたっては「ゆうゆう館の継承に重きを置く立場」という見解ですが、施設再編計画は地域住民の声を反映した改善が求められています。

コミュニティふらっと本天沼の
受託事業者

特定非営利活動法人（NPO）
障害者就労支援センター
どんまい福祉工房

杉並区本天沼1丁目24番9号

※現在はゆうゆう天沼館、コミュニティふらっと馬橋（旧ゆうゆう馬橋館）等を受託している。

あきこの部屋

9月の中旬に子宮筋腫の手術で入院し、予定より一日早く退院できましたが、まだ完全復帰には時間がかかりそうです。ご心配をおかけしますが、少しずつ慣らしていきます。

先週は買い物にも行けなかったのですが、庭にあるプランターのみょうがを初収穫しました。しかし夏が暑かったせいか10月にならないと収穫できないなんて…。朝晩はかなり涼しくなり昼間は湿度も下がってきましたが、この秋のみょうがは何回収穫できるかな…と、捕らぬなんとかの皮算用ですね(笑)



現行の保険証の廃止とマイナンバーの強制やめて！

署名にご協力を！

署名用紙をお届けしますので、お気軽にご連絡ください。回収にも伺います。



しんぶん赤旗 配達員募集！

上荻・天沼地域でしんぶん赤旗を配達していただける方を募集しています。興味のある方は野垣かお近くの黨員までお声かけください。

■自転車の場合で30分程度

□週1日～でもOK！

■年齢や性別は問いません。

□最初は丁寧にレクチャーします！